



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジー・テイスト

コード番号 2694 URL <http://www.g-taste.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉本 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 稲角 好宣

TEL 052-910-1729

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,914	△1.1	690	△8.3	712	△1.6	546	△14.7
27年3月期第3四半期	21,143	25.0	753	16.7	723	15.3	640	△25.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 546百万円 (△14.7%) 27年3月期第3四半期 640百万円 (△25.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	2.86	2.26
27年3月期第3四半期	3.81	2.65

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,442	10,197	49.8
27年3月期	20,142	9,737	48.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 10,187百万円 27年3月期 9,736百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.50	0.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	0.1	950	1.2	910	0.7	650	3.6	3.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	197,051,738 株	27年3月期	197,051,738 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	5,709,516 株	27年3月期	5,708,766 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	191,342,570 株	27年3月期3Q	168,063,457 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付で受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.平成28年3月期の期末配当予想につきましては、事業環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合勘案いたしました上速やかに開示するものいたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や、金融政策等の効果を背景に、企業業績の改善や、雇用情勢の改善がみられる等、緩やかな景気の回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなどわが国の景気を下押しするリスクがあり、先行きは依然として不透明な情勢が続いております。

外食産業におきましては、人材不足や、人件費の高騰、また円安などによる原材料価格の高騰により、依然として厳しい状況が続くことが懸念されております。

このような状況の中、当社グループでは、安心・安全でお客様にご満足頂ける商品提供への取り組み強化と併せ、居酒屋等の事業では最大商盛期である年末の宴会シーズンで最大利益を獲得すべく様々な集客施策を行い準備に努めました。寿司事業では、10月のシルバーウィークに向けた企画として、「魚vs肉」と題して、天然本まぐろ・サーモンvs牛タンローストビーフ・牛サガリの期間限定販売の実施や、季節限定キャンペーン「豊の秋めぐり」「秋穫祭」「冬華の舞」等を実施した他、Xmasキャンペーンを行うなど、お客様にご満足いただける商品提供に取り組んでまいりました。また、新たな取り組みと致しまして、社内研修を新たに構築し、東京丸の内に従来の価格帯とは異なる高価格帯業態の「鮭一輝」を既存店舗の業態転換という形でオープンさせました。

また、国産牛食べ放題「肉匠坂井」では、現状牛肉相場が上昇しており、原価高騰の先行きは不透明であります。が、安心、安全な国産牛と共に、今後もメニューミックスやフェアメニューなどを行いつつ、引き続きお客様に新しいメニューを提案してまいります。当事業では、新たにフランチャイズ店舗2店舗をオープンいたしました。今後もフランチャイズ展開を含め、店舗数拡大へと努めてまいります。

この他の外食業態においても、一部業態では、宴会需要に向けたテレビCMによる販促強化や、ショッピングセンター内での出店業態では、あらたな試みとして、お客様へ臨場感をお伝えできるライブキッチンの導入や、付加価値を付けたメニュー提案などお客様の満足度向上への様々な取り組みを行ってまいりました。

その他教育事業において、学習塾では中3生徒への「理社ゼミ」を実施し主要3教科以外の販促を強化し、他社との差別化を図ると共に、2校舎のリニューアル開校をいたしました。また、英会話事業では、NOVA復活「8周年記念クーポン」の販促に注力し、売上の向上に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、4店舗（居酒屋業態1店舗、国内フードコート業態2店舗、海外フードコート業態1店舗）の出店と、フランチャイズ店舗の譲受を1店舗、3校舎をオープンいたしました。その他、不採算店9店舗の閉店と1校舎の閉校となりました結果、外食直営店舗372店舗、教育104校舎となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高209億14百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益6億90百万円（前年同期比8.3%減）、経常利益7億12百万円（前年同期比1.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億46百万円（前年同期比14.7%減）となりました。

なお、外食事業以外の事業の重要性が乏しいため、セグメント情報ごとの記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、204億42百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2億99百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債総額は、102億45百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1億59百万円減少いたしました。主な要因は、社債の減少によるものであります。

純資産総額は、101億97百万円となり、前連結会計年度末と比較し、4億59百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,036,046	4,024,560
受取手形及び売掛金	428,532	806,527
商品及び製品	67,668	66,290
仕掛品	3,777	3,077
原材料及び貯蔵品	207,726	256,672
その他	972,008	1,056,274
貸倒引当金	△11,792	△15,707
流動資産合計	5,703,968	6,197,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,662,980	3,725,877
土地	4,558,347	4,453,369
その他(純額)	321,614	342,737
有形固定資産合計	8,542,942	8,521,984
無形固定資産		
のれん	127,233	104,532
その他	171,036	169,267
無形固定資産合計	298,270	273,799
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,404,268	4,236,610
その他	1,546,123	1,560,400
貸倒引当金	△352,661	△347,612
投資その他の資産合計	5,597,729	5,449,398
固定資産合計	14,438,942	14,245,182
資産合計	20,142,911	20,442,878
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	803,994	1,182,442
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	166,000
1年内償還予定の社債	380,000	380,000
関係会社短期借入金	921,500	708,142
未払法人税等	53,223	47,455
引当金	61,762	49,073
資産除去債務	7,470	10,948
その他	2,362,325	2,326,816
流動負債合計	4,990,275	5,170,877
固定負債		
社債	1,520,000	1,140,000
新株予約権付社債	1,971,622	1,975,924
長期借入金	400,000	459,000
退職給付に係る負債	42,864	38,103
資産除去債務	830,030	836,981
その他	650,610	624,962
固定負債合計	5,415,128	5,074,971
負債合計	10,405,404	10,245,849

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,842,326	8,842,326
利益剰余金	1,611,550	2,062,455
自己株式	△817,271	△817,348
株主資本合計	9,736,604	10,187,433
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	902	9,595
純資産合計	9,737,507	10,197,028
負債純資産合計	20,142,911	20,442,878

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	21,143,840	20,914,714
売上原価	7,586,104	7,626,042
売上総利益	13,557,736	13,288,672
販売費及び一般管理費	12,804,598	12,598,028
営業利益	753,138	690,643
営業外収益		
受取利息	6,361	6,563
受取配当金	438	465
業務受託料	51,402	50,712
受取補償金	-	37,400
その他	58,307	35,568
営業外収益合計	116,509	130,710
営業外費用		
支払利息	55,411	23,979
支払手数料	82,067	61,345
その他	8,553	23,886
営業外費用合計	146,032	109,212
経常利益	723,614	712,141
特別利益		
固定資産売却益	73	4,990
特別利益合計	73	4,990
特別損失		
固定資産売却損	-	4,355
固定資産除却損	20,391	15,710
店舗閉鎖損失	1,926	21,383
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,323	2,096
減損損失	34,038	21,268
特別損失合計	61,678	64,814
税金等調整前四半期純利益	662,009	652,317
法人税、住民税及び事業税	89,538	45,252
法人税等調整額	△68,185	60,488
法人税等合計	21,352	105,740
四半期純利益	640,657	546,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	640,657	546,577



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	640,657	546,577
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	640,657	546,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	640,657	546,577
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。